

第4章 練馬区でのコミュニティビジネス推進に向けて

1 コミュニティビジネス推進に向けた視点

事業として成り立つ可能性が高いと思われるコミュニティビジネスを推進していくうえで重要なことは、事業の担い手の経営・マーケティング力に関するものであると考えられる。

事例の研究等から、以下にコミュニティビジネス推進のための視点を整理する。

< 事業の担い手の育成 >

1. コミュニティビジネスに関連した分野での起業意向者が、事業の採算性・可能性などの有無を判断できるマーケティング力の取得
2. 魅力的な地域づくり等を推進する人材の育成
3. 既存の団体等が、コミュニティビジネスに関連した分野で、新たにビジネスモデル⁷として成立させることができる経営手腕・実行力の習得

< コミュニティビジネスのマーケティングと市場開拓 >

1. 区民の生活要望、生活提案などに関するニーズの把握
2. 練馬区など行政事務の業務委託に関する可能性の把握
3. 区民の起業意向や区内事業者・団体等の事業意向など、コミュニティビジネスの担い手候補の把握
4. コミュニティビジネスに関する可能性の分析・検討

< コミュニティビジネス推進サポート機能の充実 >

1. フォーラムなどコミュニティビジネス推進のための場づくり
2. 「事業の担い手育成」に関する各種の支援制度、経理処理などを包括的に行う支援組織（インターメディアリー⁸、リエゾン⁹等）の仕組みづくり
3. コミュニティビジネス推進のためのファンド（基金）づくり

< 区民等のコミュニティビジネス理解向上と普及啓発 >

1. 練馬区を安全・安心・快適で魅力的なまちにしたいと思うための普及啓発
2. 練馬区の良さ、地域の課題を知る機会や場づくり
3. コミュニティビジネスに関するニーズ等の情報提供

今後、コミュニティビジネス推進のためのそれぞれの視点を踏まえ、様々な担い手によるコミュニティビジネスの活動を実践していくことが求められる。

2 コミュニティビジネス推進に向けた支援策のイメージ

練馬区内でコミュニティビジネスを推進していく上での視点を整理したが、これらを実施していくためには、区や他の関係機関等が連携し、事業の担い手を支援していくことが必要である。

そこで、各項目の具体的な対応策について整理した。柱立ては、「担い手育成・支援に関すること」、「ビジネスの可能性に関すること」、「事業環境の向上に関すること」、そして「区民等への普及啓発に関すること」とした。

柱立て	具体策
担い手育成・支援に関すること	<ul style="list-style-type: none"> < 担い手の育成関連 > ・ 起業講習会の実施 ・ 市民団体等と連携した区民向け講座の充実 ・ 地域づくりリーダー育成ワークショップの開催 ・ コミュニティビジネス推進マネージャー育成研修 ・ 小・中学校等での起業・ボランティア教育の導入 など < 既存の団体等への担い手支援関連 > ・ もてなしサービス講習会・研修の実施 ・ コミュニティビジネス等に関する総合相談窓口の設置 ・ コミュニティビジネス等支援人材バンクの設置と情報提供 ・ ビジネスアイデアの募集と立ち上げ支援等の推進 など
ビジネスの可能性に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティビジネス可能性モニター調査システムの設置 ・ コミュニティビジネス推進プランの策定 ・ コミュニティビジネス活動データベースの設置と情報提供 ・ 行政業務委託の推進、指定管理者向け研修と情報提供 ・ 中間支援機関によるマーケティング活動 ・ マーケティング情報のピンポイント提供システム など
事業環境の向上に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報交換、交流のための場（交流会、ホームページ）設置 ・ ビジネスマッチング・コーディネーターの育成 ・ 中間支援機関（インターメディアリー）の設置 ・（仮）練馬区発コミュニティビジネス創出フォーラム設置 ・ 即戦力人材、シニア人材派遣システムづくり ・ 「コミュニティ活動場所バンク」の設置と情報提供 ・ 「コミュニティ・ファンド」など資金調達等の検討 ・（仮）ねりまコミュニティ・ファンドづくり など
区民等への普及啓発に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ パンフレットの発行、配布 ・ コミュニティビジネス啓発セミナーなどの開催 ・ 地域づくりワークショップの開催 など